

1. ホームドア

①ホームドア整備に対する現状、課題、全体計画等

国土交通省の「ホームドアの整備促進等に関する検討会」の中間とりまとめに基づき、利用者が1日10万人以上の駅およびオリンピック・パラリンピック競技大会会場最寄り駅に整備を進めてきた。10万人以上の駅(2019年度実績)については6駅中5駅で、オリンピック・パラリンピック競技大会会場最寄り駅については対象となる1駅で、既に整備が完了している。また、10万人未満の駅についても現在笹塚駅にて整備を進めている。

○課題
ホームドアの荷重に耐えるためのホーム補強やホーム改修が必要になるなどの技術的課題のほか、停車時分の増延による列車遅延発生が懸念されること、ホームドアの設置だけでなく維持管理にも多額の費用が必要になること。

○目標
引き続き、利用者が1日10万人以上の駅に整備を進めていく。
10万人未満の駅についても、乗換によりホームが混雑している駅や駅周辺の特性を踏まえ、優先度を整理しながら東京都内全66駅にホームドア整備を進める。

②各駅の計画

<利用者10万人未満駅>

| 駅名 | 路線名 | 事業期間 | 優先整備の視点 | | 整備状況 (令和5年3月末時点) |
|---------------|------|------------|----------------------------|--------------------------------------|-----------------------|
| | | | 駅周辺の特性 | 駅の特性 | |
| 飛田給駅 | 京王線 | 平成29～令和2年度 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会会場最寄り駅 | — | 整備済み |
| 笹塚駅 | 京王線 | 令和3～5年度 | 高齢者福祉施設、保育所等が集積 | 都営新宿線方面乗換駅 島式ホーム2面4線 京王ライナー通過駅 | 1,4番線整備済み 2,3番線未整備 |
| 神泉駅 | 井の頭線 | 令和5年度 | — | — | 全線未整備 |
| 久我山駅 | 井の頭線 | 令和4～6年度 | 盲学校が立地 | 島式ホーム1面2線 | 全線未整備 |
| 三鷹台駅 | 井の頭線 | 令和5年度 | — | — | 全線未整備 |
| 上記以外の 都内全駅 | 京王線 | ～2030年代前半 | — | — | 43駅未整備 |
| 上記以外の 都内全駅 | 井の頭線 | ～2020年代中頃 | — | — | 10駅未整備 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

<利用者10万人以上駅>

| 駅名 | 路線名 | 事業期間 | 整備状況 (令和5年3月末時点) |
|------|-------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 下北沢駅 | 井の頭線 | 令和1～3年度 | 全番線整備済み |
| 渋谷駅 | 井の頭線 | 令和5年度 | 1,2番線整備済み(平成30年度) 降車ホーム未整備 |
| 新宿駅 | 京王線 | ～2030年代前半 | 1,2,3番線整備済み(平成24～25年度) 降車ホーム未整備 |
| 明大前駅 | 京王線 井の頭線 | 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業 の進捗にあわせて整備 | 全線未整備 |